

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 19 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 21 日 作成

事務事業名		入札参加資格審査事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	中島 正剛
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	財政課	担当者名	山隈 和徳
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進			所属班	財政班	(内線)	1233
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市競争契約入札心得、合志市工事入札参加資格者格付要綱		
	1	2	1	7	11041		成果優先度評価結果	コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 41 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・市が発注する工事、委託業務、物品購入業務における競争入札に参加しようとする者の資格審査及び格付を行う。 ・明治22年会計法が制定され、資格審査をパスした有資格者のうちから、発注者が指名基準を満たしている業者を指名し競争入札をおこなった。平成6年一般競争入札方式の導入がなされ指名競争方式の改善が進められている。 ・「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、透明性の確保、公正な競争の促進、談合や丸投げ等の不正行為の防止の徹底、適正な施工の確保等が行政に強く求められている。「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)が、平成17年4月施行されたことに伴い、価格と技術力を総合的に評価して落札者を決定する「総合評価方式」の適用が開始され、「価格競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」への転換が求められている。
【業務の流れ】	2年に1回(2月1日から2月28日まで)競争入札参加資格審査申請書(約1,800件)を受理、審査し、定時登録する。定時登録の翌年(同期間)は補充登録を行う。土木一式工事については、市工事入札参加資格者格付審査会を開催し、市工事入札参加資格者格付要綱に定める基準に従い、工事入札参加資格者の格付を作成する。市工事入札指名等審査会において、不正行為等を行った有資格業者の指名停止について審査を行う。
【主な予算費目】	職員手当等(時間外勤務手当)、賃金
【意見や要望】	・「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、透明性の確保、公正な競争の促進、談合や丸投げ等の不正行為の防止の徹底、適正な施工の確保等が行政に強く求められている。 ・「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)が、平成17年4月施行されたことに伴い、価格と技術力を総合的に評価して落札者を決定する「総合評価方式」の適用が開始され、「価格競争」から「価格と品質で総合的に優れた調達」への転換が求められている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・競争入札参加資格の152件の追加登録を行った。 ・工事入札参加資格者格付審査会の開催と格付を行った。	・競争入札参加資格の審査(定時登録) ・工事入札参加資格者格付審査会の開催と格付
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
ア 工事入札参加資格審査申請件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)
工事入札参加資格申請を行なう業者	件
ア 工事入札参加資格審査申請受理件数	件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)
適正な工事入札参加資格を持つ業者が把握される。	%
ア 適正な事務処理がなされなかった割合	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
入札への参加にあたっては、公平性(公正性)や談合、丸投げ等の不正行為の防止などが求められており、不正業者の確認排除が重要であるため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 件		1,735	1,744	130	66	1,900	60	1,900
⑤ 対象指標	ア 件		1,735	1,744	130	66	1,900	60	1,900
⑥ 成果指標	ア %		0	0	0	0	0	0	0
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円				214		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	40	83	43	19	182	43
	(A) 事業費計	千円	40	83	43	19	396	43	390
	(A)のうち指定経費	千円					396	43	390
	(A)のうち時間外、特勤	千円					182	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	14	4	4	4	4
延べ業務時間		時間	268	873	50	720	900	300	900
(B)人件費計	千円	1,064	3,492	199	2,866	3,582	1,194	3,582	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,104	3,575	242	2,885	3,978	1,237	3,972	

総トータルコスト	全体計画
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	入札参加資格審査事務	所属部	総務企画部	所属課	財政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度は、152件の追加申請の受付を行なったが、不適正な申請はなかった。今後は、申請内容の確認と併せて事務量の軽減を図る必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

効率性には広域的な取組みが有効であるが、熊本県を中心としたネットワークの構築ができていない。